

# 一

# 般 質 問

10人の議員から16件の一般質問

## 一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判等を執行者に直接質問することです。

質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたっています。



**町長** 現在国では、東日本大震災が発生した日を「祈りを捧げる日」として制定することを検討している。町では、毎年防災訓練を



3月8日に行われた防災訓練（石畑地区）

**質問** 「阪神・淡路大震災」（平成7年1月17日）から20年を経過し、さらに「東日本大震災」（同23年3月11日）の発災からまもなく4年を迎えようとしている。あらためて、大災害からの教訓を活かした施策展開について、地域・行政・多世代といったあらゆる視点からの再認識と共有が必要ではないだろうか。1月17日や3月11日を祈念の日（災害対策強化や防災教育、ボランティア啓発）とするなどの検討をはいかがでしょうか。



齋藤 成宏 議員（民主党）

1・17や3・11を  
祈念の日とする検討を

町長 町での新たな制定は考えていない

## pick up

## 議案第10号 介護保険条例の改正を可決

27年度4月からスタートする第6期介護保険事業計画の介護保険法の改正及び介護保険料の改定等のため、条例を改正するものです。

**Q** 27年度から29年度までの介護保険料改正の主な内容は。

**A** 保険料算定の基礎となる基準額を月額500円引き上げ、年額64,200円とする。また、保険料率の所得段階を変更し、10段階から14段階に見直し、最高所得段階の区分「800万円以上」を「1,500万円以上」に引き上げる。

**Q** この改正により、サービス利用料が2倍になる方がいるのでは。

また、地域包括支援センター機能はどうなるのか。

**A** 27年8月から一定の収入のある方は2割負担になる。地域包括支援センターは28年度中に1カ所から2カ所に拡充する予定。



デイサービスで体操をしている様子（不老の郷）

## pick up

### 議案第40号

## 平成26年度瑞穂町一般会計補正予算を可決

国の交付金「地方創生」事業3400万円に質疑集中

「まち・ひと・しごと創生法」の制定により、町は地方版総合戦略を策定することになり、これに伴い、地域活性化・地域住民生活等緊急支援金として、国から3,369万1,000円が交付されました。町は、この交付金を活用し、プレミアム商品券事業、ふるさとづくり推進事業を行うため予算計上しました。

**Q** 総合戦略策定に向け、まず何をやるのか。

**A** 2060年の人口減少問題に対して、国の長期ビジョンと連動させるため、町の将来の人口推計などを分析する。

**Q** ふるさとづくり推進事業の主な内容は

**A** 観光事業について、今回初めて観光コンサルタントにアドバイスを頂き、観光事業の冊子2,000部を作成した。

**Q** プレミアム商品券の内容は

**A** 1冊1万円で、1万2,000円分（5000円×24枚）の買い物ができる。大型店を含む全店共通が8,000円分、大型店以外の中小の店分が4,000円。登録されたお店で利用可能。発行総数は1万冊で1人3冊まで。7月から8月にかけての日曜日に販売したい。



瑞穂町商工会でプレミアム商品券を買い求める行列（21年11月）